

2023年05月07日

「隣人の救いのために」

人を説得したり励ましたりするのに、その人を鞭打つことが功をなす場合と、その人を受け入れることが功をなす場合があります。そこには正解はありません。

誰かが過ちを犯したとき、訓戒することで相手が励まされる場合と、「わたしも一日に何度もそう考えます。人間は本当に弱い存在です。ね」という共感のことばによって励まされる場合があります。ただし、私たちは霊的訓練を通して自分の立場よりも相手の立場を先に考え、彼らを励ます眼識を育てること必要があります。

正解を話して叱るべきか、弱さを慰めて励ますべきかを見分けるのは本当に難しいことです。どこまでが勇気でどこまでが蛮勇なのか、どこまでが知恵でどこまでが妥協なのか、その境目を知るとはとても難しいことです。

そのような時には思い煩わずに祈り、神様の知恵を求めなければなりません。

私たちは、自分のそばにいる隣人を真理に立ち返らせることに、自分の存在と行動が少しも邪魔にならないようにしてくださいと祈り求めましょう。

隣人がキリストに立ち返り、私たちと同じ信仰を持つことが妨げとならないように、自分の品性、態度、勤勉さ、常識など、どんなことにおいても気をつけましょう。それが主の弟子の生き方であり、弟子訓練なのです。

リビングライフ・コラムより

## 週報

§ 今年の教会テーマ  
「恵みあふれる教会」

§ 今年の主題聖句  
「私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けた。」ヨハネ1章16節

〒513-0035 鈴鹿市矢橋町 471-2  
宗教法人 日本ネクスト・タウンズ・クルセード  
鈴鹿キリスト福音教会  
059-383-5145(教会)  
080-3706-8433(牧師)

5月7日

## 【報 告】

- ※ 本日は聖餐式礼拝です。
- ※ 先週は「バイブル・トーク・セミナー」が行われましたが、講師の浜崎先生によりオンラインで、たいへんわかりやすく、教え、導いてくださいました。特に、このみ言葉による「バイブル・トーク」の目指すものが、「伝道とイエス様との出会い」であることを繰り返し勧めて頂きました。この日の集会の様子は教会ホームページから見る事が出来ますので(PWは szkfkkin)参加できなかった兄弟も是非ご覧ください。
- ※ 来週の日曜日(14日)午後1時半から教会駐車場の除草奉仕会を持ちます。兄弟の協力をお願いします。
- ※ 昨日、催された今月のフードパントリーは、輝子伝道師をリーダーとして9名の奉仕者により多くの利用者の方とその家庭に手作りのお弁当などを届けることが出来ました。まだ月に一度のささやかな働きですが、これを通して地域の方たちに主の愛と恵みを届けることが出来ることを感謝します。
- ※ 今週水曜日午前10時より3回目の「家庭形成セミナー」を行います。前回に続き、子育てにおける境界線の必要について、「みんなで聴く読書会」の「聖書に学ぶ子育てコーチング・境界線～自分と他人を大切にできる子」の本を共に聴いて、その後聞いて教えられたことなどを自由に分かち合いたいと思います。

### 今日のメッセージを通して

- \* 人間とはどういう者でしょうか
- \* また神様とはどのようなお方でしょうか

今週の礼拝メッセージ  
聖書箇所

「隔ての壁を除くために」  
使徒 10:1～20

旧約聖書の時代、神はまずアブラハムの子孫からユダヤ民族を創り、彼らを通してこの世界に救い主、イエス・キリストを遣わす準備をされた。その結果、ユダヤ人は自分たちだけが神に選ばれた特別のもので、神の愛と救いはユダヤ人にだけ向けられたものであり、異邦人(ユダヤ人以外の民族)は神の恵みの外にあるものと受けとめていた。しかし、神はイエス・キリストの十字架によって、彼を信じるすべての人に救いの道を開いて下さり、その福音の恵みを異邦人の世界にも及ぼせるために、ユダヤ人の中からペテロを、異邦人の中からローマ軍の百人隊長コルネリウスを用いられました。

1. **ペテロ(ユダヤ人)とコルネリウス(異邦人)の間には大きな隔ての壁があった**  
今日も人と人との間に様々な隔てがある  
(人種間や国家と国家の間にある対立、世代間の対立など)  
エペソ 2:11～19
2. **神は隔ての壁を崩して、和解と一致をもたらせてくださる**  
キリスト教は全世界のあるゆる民族に伝えられ信じられている  
使徒 10:34～43
3. **隔ての壁を超えさせるために神はペテロとコルネリウスを用いられた**  
\* ペテロは  
①主は彼を皮なめしのシモンの家に客人とされた(謙遜で広い心を)  
②主は幻を見せて、ご自身の御心を教えられた。 10:10～16  
\* コルネリウスは  
使徒 10:2 彼は敬虔な人で、家族全員とともに神を恐れ、民に多くの施しをし、いつも神に祈りをささげていた。  
①彼は主を恐れる心を持った異邦人(ローマ人)であった 10:2  
②彼はいつも神に祈りを捧げ、神を求める心を持った人であった  
③民に多くの施しをする愛の人であった